

外出先の授乳スペースに関する研究

授乳室の個室の必要性和その具体案

Study about the nursing space of the whereabouts

The need of the private room of the nursing room and the concrete plan

○野村 優羽子¹, 八藤後 猛²

Yuko Nomura¹ Takeshi Yatogo²

In late years, by the barrier-free method, the setting of the nursing room advances rapidly in public accommodation and commercial facilities. I focused on the private room from the element which constituted a nursing room in this study mainly. As a result of investigation, I understood that space for exclusive use of the sectioned nursing such as the private room was necessary for a nursing room. In addition, what most of nursing rooms set up had a problem with in a security aspect, privacy became clear now.

1. 研究背景・目的

近年、バリアフリー法の施行により、乳幼児連れおよびベビーカー利用者の外出の増加が目立ってきている。それに伴い、商業施設や公共施設では授乳室の設置が急速に進んでいる。東京都では、特に公共性の高い建築物を対象として、授乳及びおむつ交換のできる場所の設置が建築物移動等円滑化基準（義務基準）への適合義務として建築物バリアフリー条例第 10 条によって定められている。しかし急速に増加したこれらの施設は、必ずしも利用者のニーズに対応できているものばかりではない。独自の基準を設けて設置をしている施設もあるが、明確な設計指針のないまま設置されているものも少なくなく、それらはさまざまな問題を抱えていることがここ数年で明らかになってきている。

本研究では授乳室を構成している要素の中でも、主に個室に焦点を当てて調査をし、その必要性を示していく。また、女性・男性それぞれの利用者のニーズを満たす建築計画・設備を検討し、現状の課題点等を示すことを目的とする。また、現状の課題点等をふまえ、今後の授乳室のあり方について、状況別に提案することを目標とする。

2. 調査方法

2-1 予備調査（実地調査）概要

東京都内にある、7 箇所の百貨店等の商業施設において、授乳室（ベビールーム等を含む）の設備内容、授乳のための個室の設置状況、男性の入室が可能か、などを調査した。期間は平成 22 年 8 月 18 日、平成 22 年 8 月 20 日の 2 日間調査を行う。

2-2 アンケート調査概要

外出時における授乳に関するアンケートを、東

京都、埼玉県、神奈川県在住の 0 歳から 6 歳までの子どもがいる家庭を対象に配布し、アンケートを行う。アンケートは女性向けと男性向けを用意し、それぞれを一家庭に一部ずつ配布する。期間は平成 22 年 11 月～12 月に行った。

2-3 ヒアリング調査概要

千代田区内の児童センターにて、0 歳から 6 歳までの子どもがいる母親 14 名を対象にヒアリング調査を行う。期間は平成 22 年 11 月 30 日、平成 22 年 12 月 2 日の 2 日間、調査を行った。

3. 調査結果

3-1 予備調査（実地調査）結果

表 1 より実地調査の結果、授乳室のパターンは図 1～3 に示すような「個室型」「ベビールーム型」「小型」のおおよそ 3 種類に分類できることがわかった。

Table 1. The results of on-the-spot survey

場所 (駅)	建物の名称	授乳室のパターン	個室の有無	個室の設置数	授乳スペースの仕切り	男性の利用
銀座駅	A	個室型	無	1 (鍵なし)	アコーディオンカーテン	不可(女性トイレ内)
銀座駅	B	ベビールーム型	有	1 (鍵なし)	カーテン	表記なし
銀座駅	C	ベビールーム型	有	2 (鍵なし)	カーテン	不可
銀座駅	D	ベビールーム型	有	2 (鍵なし)	アコーディオンカーテン	別のエリアに使用できる施設あり
新宿駅	E	ベビールーム型	無	1 (鍵あり)	カーテン	不可
新宿駅	F	個室型	有	1 (鍵あり)	自動ドア	表記なし

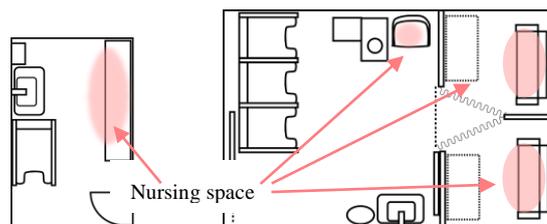
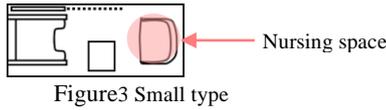


Figure1 Private room type

Figure2 Baby room type

1: 日大理工・院 (前)・建築

2: 日大理工・教員・建築



3-2 アンケート調査結果

1) アンケートの回収

Table 2. The number of the effective answers

	女性向け	男性向け
配布数	454 部	454 部
回収	102 部	57 部
回収率	22%	13%

2) 調査結果

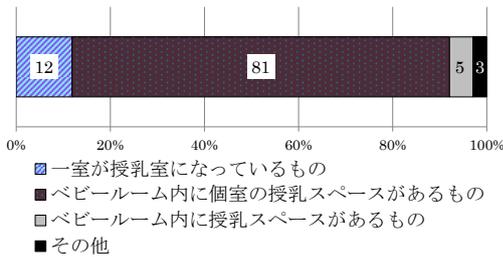


Figure 4 Pattern of the nursing room to think to be desirable

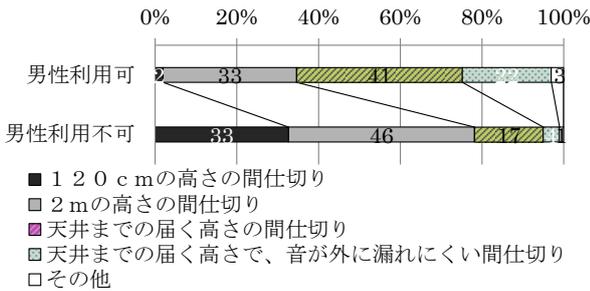


Figure 5 Pattern of the nursing room to think to be desirable

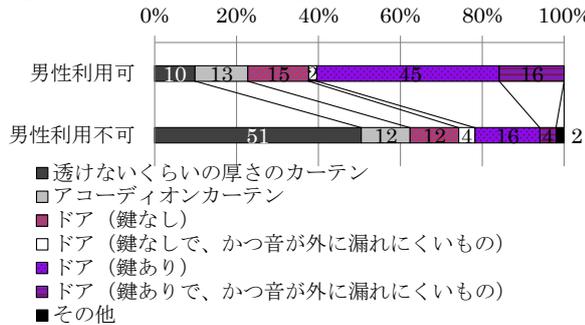


Figure 6 Partition to think to be desirable according to the admission of the man

3-3 ヒアリング調査結果

Table 3. Thing embarrassing in nursing room

カテゴリー	具体的な内容
授乳室のパターン	個室が良い。落ち着く。2※
防犯面	知らない人に個室の仕切りを開けられた。1
配置	ベビーカーが授乳室に入らなかった。1
	個室が奥にあると行くのが大変。1
音環境	授乳スペースが小さい。1
	仕切り越しに聞こえてくる音(電子音)が気になった。1
	落ち着いた(静かな)場所で授乳したい。1
	隣の子が泣いているととても気になる。1
設備	授乳中、人の出入りが気になった。1
	粉ミルクを溶かすためのお湯が出るところが少ない。1
衛生面	授乳室に暖房がなかった。1
衛生面	トイレの跡地に設置されており、臭い、衛生面が気になった。1

*表の中の数字は回答者の人数を表している。

4. 考察・まとめ

調査の結果、Figure 4 より、授乳室には母乳による授乳ができる個別のスペースを必要とする人がいることがわかった。また、結果では省略したが外出先の授乳経験のある場所について、母乳による授乳をする人はトイレ内や自家用車の中などが多く、比較的小さい空間かつプライベート度の高い空間を選ぶ傾向がある。この結果からも、授乳室内に母乳による授乳ができる個別のスペースが必要と考えられる。また男性利用者にとっても個室で授乳をしているほうが気を遣わずにすむため、母乳による授乳ができる個別のスペースの設置は女性・男性双方にとって良いと考えられる。また、母乳による授乳ができる個別のスペースには、防犯面や誤って授乳中にドアまたはカーテン等を開けられないように、鍵を設置すべきである。また授乳中、上の子どもも一緒にいることが多いという結果から、鍵は上の子どもが開けて勝手に出ていかないような高さに設置することが望ましいと考えられる。また、そのスペースは上の子どもも一緒に入れ、なおかつベビーカーごと一緒に入れるものがより望ましい。男性の利用に関して、肯定的な意見が多くみられたが、母乳による授乳ができる個別のスペースに十分な配慮が必要という結果となった。Figure 5.6 より、男性の利用が可能な授乳室の場合、結果より音の漏れや間仕切りの高さ、仕切りに配慮が必要である。

また、男性が利用しやすいように、男性も利用可能であるという明記や授乳室の入口に授乳室内の案内図等の設置、施設名を「授乳室」以外のものにするという配慮も必要である。

【参考文献】

- 1) 国土交通省 安心して子育てができる環境整備のあり方に関する調査研究 報告書 総合政策局 平成 22 年 3 月
- 2) 川野江里子 他 授乳室における空間構成の実態把握と課題整理 授乳室の空間構成に関する研究 その 1 日本建築学会大会学術講演概要集 (北陸) 2010 年 9 月
- 3) 田才知未 森傑 男性共同利用からみた授乳室のあり方についての基礎的研究 一札幌市内における商業施設の実態調査を通じて一 日本建築学会大会学術講演概要集 (北陸) 2010 年 9 月